

| | |
|--|-----------------|
| 依頼者 | 学校法人愛知学院 愛知中学校 |
| タイトル | 「環境講座」の内容と講師の依頼 |
| <p><u>コーディネーターへの相談内容</u></p> <p>○依頼者のご要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校では、毎年、中学1年生全6クラスを対象として「環境講座」を開催している。「環境」には「温暖化」、「砂漠化」、「大気汚染」、「水質汚染」など様々な分野があり、「温暖化」の中にも「海面上昇」「感染症」「生態系の変化」など様々な切り口がある。本校では、事前に班ごとにテーマを決め、年間でその問題について調べ学習やインタビュー学習などを行う。最後に各班が学年全員の前で発表し、調べてきたことを全員で共有することにより、環境に関する様々な問題について学ぶ。 ・この全6回の「環境講座」の講座内容と講師を紹介していただきたい。 | |
| <p><u>コーディネーターの対応</u></p> <p>○外部講師の紹介</p> <p><国際分野から環境を考える講師></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいち国際理解教育ステーション (AIS) 田辺美佐子氏 ・フェアトレードショップ 風"s 齋藤志保氏 <p><暮らしの中から環境を考える講師></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アースネットなごや 今井光代氏 <p><行政の立場から環境の取組を行っている講師></p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県建設部河川課 職員 <p><科学分野から環境を考える講師></p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社環境公害センター 社員 ・名古屋大学工学研究科エネルギー理工学専攻 窪田光宏氏 <p>○学習内容の提案</p> <p><国際分野から環境を考える学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は水が豊富な国だが、国によってはその水を得るために多くの時間が必要な場合もある。また、様々な商品を輸入することにより間接的に水を奪っている状況もある。水について様々な切り口で話すことにより、生徒の視野を広げること。 ・チョコレートは、日本に届くまでには様々な問題が絡んでいる。その問題を解決・改善するためにフェアトレード活動している団体から話を聞くことにより、私たちにできることを生徒に知らせること。 <p><暮らしの中から環境を考える学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境は意外なところで私たちの生活とつながっているが、普段の生活の中でそれを意識することはほとんどない。その意外な面を知ることにより、日々の生活の中で私たちが出来ることを考える機会とすること。 <p><行政の立場から環境の取組を行っている講師の学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な川に関する仕事をしている方から話をしてもらうことにより、環境に直接かかわる仕事もあるのだ | |

ということを学ぶこと。

<科学の分野から環境を考える学習>

- ・環境そのものだけでなく、環境に直接かかわる仕事について知ることのできるものをいくつか入れることにより、将来的に「解決」や「改善」に携わることへの興味関心も引き出すこと。
- ・震災後、原発や風力、太陽エネルギーなど、特にエネルギーに関する話題は日々メディアでも報道されており、生徒たちにもその知識はあるが、電気エネルギーのことは意外と知らない。身近な話題からエネルギーについて学ぶ機会とすること。

学習内容と当日の様子

<国際分野から環境を考える学習>

- ・世界の水事情についてクイズ等を使って説明を行った。また、汚れた水を飲み、下痢等で命を失って行く子どもたちの特効薬として使われている生理食塩水を実際を作って、試飲した。このことが、世界の水の現状について、生徒たちに大きな印象を残すことになった。その結果、自分たちでできることがないか真剣に考えるきっかけとなった。
- ・カカオの生産国がどこにあるのかを探し、生産量と消費量、それぞれどこの国が一番多いのかを考えた。チョコレートを通して、物がどのように生産され、消費されているのか、世界の現状を知ること、環境問題について考えた。

<暮らしの中から環境を考える学習>

- ・プロジェクターの映像を通して、私たちの便利な社会の裏には、公害による被害、森林伐採、エネルギー等の問題が潜んでいることを、生徒に質問を投げかけながら、考えさせた。どの生徒も便利な私たちの生活の裏で、苦しんでいる人たちがたくさんいるということに衝撃を受けたようである。

<行政の立場から環境の取組を行っている講師の学習>

- ・実際に、地図を広げ、愛知県内にある川について把握。その後、動画等を使って河川整備の現状について理解する。そこから、外来種の問題や地球上で起こっている環境問題について学び、良い環境とはどういうことか理解していった。

<科学の分野から環境を考える学習内容>

- ・パケットの準備、パケット実演、実習→物の重さ、長さについての話をした。当講座の担当が理科の教員であったため、講師の言わんとすることや実験の意図などを的確に把握し、適宜講師のアシストを務めたため、流れがスムーズであった。講座の内容に関しては、実際に実験を通して水質や川の汚染について理解できたため、生徒たちに学習内容が印象深く残った。
- ・身近な電気についてどのようなものがあるのか、発電の仕組みやエネルギーの話から、実際にどのように電気がつくられているのか、実験を通して説明を行った。

コーディネーターに対する感想

○依頼者

- ・一方的に話す講話ではなく、生徒にいくつかの種類のグループワークをさせてもらえた。
- ・子どもたちが環境問題を身近なものとして危機感を持つようになった。
- ・実験・実習・単位についての話、とメリハリのある構成が良かった。

○外部講師

- ・意見をよく出していただき、授業が深まった。丁寧にコーディネートしていただきありがたい。
- ・どういう話をしてほしいのかということ、コミュニケーションを取りながら示していただけだったので良かった。
- ・コーディネートについては、メールやお電話で細かくご連絡をいただいた。なかなか自前ではこのように学校に出向いて授業を行う機会は得られないので、間に入れていただけたのは、ありがたかった。

その他

6クラス同時開催